

7 子どもの心のケア推進事業

東日本大震災により様々な体験をした子どもたちの心のケアを行うために、子どもたちが表す様々な精神症状や心の問題について、地域の関係機関と連携しながら充実した医療的支援を行うため、子ども総合センター附属診療所における児童精神科医療体制の強化を図っている。

また、保育士や教員など子どものメンタルヘルスに関わる支援者の対応力向上を図ることを目的とし、地域の状況の経年的変化に沿って内容を調整しながらコンサルテーションや事例検討会、研修会などを実施している。

(1) 子どもの心のケア体制強化事業

① クリニック対応医師の委嘱

クリニックの診療体制強化のために児童精神科医3名(年間105回)を外部委嘱した。

② 「りんくるみやぎ」スタッフ会議への参加

③ 「心のサポート班事例検討会」における助言

④ 子ども・若者支援地域協議会への参加

(2) 子どもの心のケア研修事業

保育士、教員、保健師等の子どものメンタルヘルスに関わる支援者を対象に、子どもの心のケアに関する研修会や対応困難な親子への関わりを学ぶ研修会を実施した。

○ 実施状況

① 保育所等関係者研修会

支援者が子どもへの効果的な支援の在り方や関わり方、また、自らのメンタルヘルスケアについて学ぶことで、対応力向上の一助となることを目的として実施した。

講義「コロナ禍での気になる子どもと保護者の支援について」

～アタッチメント障害を中心に～

座談会「コロナ禍や災害のことなど気になっていること何でも話してみよう」

実施日・会場	講師
令和4年8月25日(水) 子ども総合センター 受講者20人	(対面・Web研修) 東北福祉大学 講師 柴田 理瑛 氏
令和4年9月26日(月) 大崎合同庁舎 受講者14人	(対面研修) 宮城学院女子大学 教授 足立 智昭 氏
令和4年10月13日(木) 石巻合同庁舎大会議室 受講者7人	(対面研修) 東北学院大学 教授 平野 幹雄 氏
令和4年11月9日(水) 子ども総合センター 受講者19人	(対面・Web研修) 東北学院大学 教授 平野 幹雄 氏

②児童精神科医による対応困難な親子に関する研修会

対応困難な親子への理解を深め、支援者に必要とされる視点や関わり方について考える機会とし、また、支援者自らのメンタルヘルスキューアの一助となることを目的として実施した。

実施日・会場	内容・講師
令和4年11月25日(金) 宮城県子ども総合センター 受講者45人	講話及び座談会 「親に人格障害が疑われる困難事例の支援について」 講師 宮城県子ども総合センター 保健福祉部技術副参事兼技術次長 児童精神科医 高田 美和子

③虐待から子どもを守るための研修会（児童虐待対応職員研修会）

地域で子ども虐待に対応する職員が、子どもと子どもを取り巻く家族全体の問題と長期的に向き合い、適切に支援することができるよう、職員の児童虐待対応力の向上を目的に実施した。

実施日・会場	内容・講師
令和4年11月30日(水) まなウェルみやぎ 第1・2研修室 受講者 Aコース 49人 Bコース 52人	講義・演習「養育に困難を抱える家庭（保護者）の地域見守り支援と対応について」 講師 明治大学 文学部 心理社会学科 教授 加藤 尚子氏 Aコース 午前10時00分から午後0時30分まで Bコース 午後1時30分から午後4時00分まで

④アートセラピー研修会

ホスピタルアートと心のケアについて学ぶことにより、支援者の対応力を高めることを目的として実施した。

実施日・会場	内容・講師
令和5年1月25日(水) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者21人	講演・制作 「子どもの感性を開き、共に喜ぶ臨床美術の手法」 講師 東北福祉大学教育学部教育学科 准教授 青木 一則 氏

⑤子どもの愛着形成について考える研修会

実施日・会場	内容・講師
令和5年2月1日(水) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者85人	講義 「愛着（アタッチメント）形成の不全とその支援の在り方」 講師 東北大学名誉教授・AFL発達支援研究所 代表 本郷 一夫 氏

⑥子どもの心の回復力を育てる研修会

傷つきながらも、その経験をしなやかに受け止めて立ち直る心（レジリエンス）を育てる支援について学ぶことを目的として実施した。

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和5年1月18日(水) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者35人	講義 「子どもの心を支え、回復力（レジリエンス）を育てる支援の在り方」 講師 東北大学名誉教授・AFL発達支援研究所 代表 本郷 一夫 氏